

助け合いの“しるし”です！

# 「ヘルプマーク」「ヘルプカード」

「ヘルプマーク」は、外見からは分からない障がいや病気、妊娠初期などが、援助や配慮を必要とすることを周囲に知ってもらうためのマークです。「ヘルプカード」は、障がいのある方などが災害時や日常生活の中で困ったときに、周囲へ手助けをお願いしやすくするための情報をまとめたカードです。見掛けた際は、声掛けや手助けなど思いやりのある行動をお願いします。

【問い合わせ】障がい福祉課(なごみ・総合支援センター内)  
☎287-2525)

## ●ヘルプマーク・ヘルプカードを受け取るには…

対象▼村内在住で▽外見からは分からない障がいや病気のある方 ▼妊娠初期の方 など

申し込み▼障がい福祉課備え付けの申込書に必要事項を記入の上、申し込みください。※申込書は村公式ホームページからもダウンロードできます。

## ●「東海村版ヘルプカード」があります！

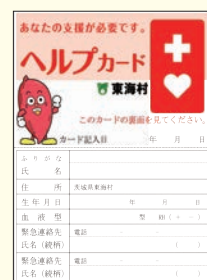
イモゾーをデザインした、村オリジナルのヘルプカードを、障がい福祉課で配布しています。※村公式ホームページからもダウンロードできます。



ヘルプカード



ヘルプマーク



東海村版ヘルプカード

# 「保育」という おしごと

— 保育者からのメッセージ —



大好きな子どもたちの成長に  
感動する毎日です

村松幼稚園  
菊本美紀指導教諭

保育の仕事には他にもたくさんすてきなことがあります。どれも子どもたちと実際に関わるからこそ知ることができるとだと思えます。これを読まれた方が保育の仕事に興味を持ってくれたら、とてもうれしいです。

保育の仕事には他にもたくさんすてきなことがあります。どれも子どもたちと実際に関わるからこそ知ることができるとだと思えます。これを読まれた方が保育の仕事に興味を持ってくれたら、とてもうれしいです。

私は小さい頃から保育園という場所が大好きでした。優しい先生や仲の良い友達がいる保育園で過ごす日々はとても楽しく、いつしか「そんな場所でも働きたいと思うようになり、保育士になることが私の夢となりました。」  
夢をかなえ、十数年…。私が保育の仕事に就いて良かったと思うことを、いくつか紹介したいと思います。  
一つ目は「子どもをさらに好きになったこと」です。子どもが好きで保育士になりましたが、働きだしてから、子どもの表面的なかわいさだけでなく、内面のキラキラした部分をより感じられるようになりました。一

人ひとりに違った輝きがあり、そういう部分に触れたとき、すてきなと感じ、子どもたちをもっと好きになります。  
二つ目は「年間がとても充実していること」です。幼稚園では四季折々の自然を感じることや行事に携わることを大切にしています。春は暖かな日差しの中でかくれんぼをしたり、夏はプール遊びをしたり…。その季節にしかできない体験をすることで、子どもたちの心がより豊かになっていきます。毎日新しい発見や学びがあり、一日一日が、かけがえないものに感じられます。  
三つ目は「たくさん感動に出会えること」です。鉄棒がでなくて何度も挑戦できるようになったときの表情、リレーで負けて悔しかったときの表情…。子どもたちのさまざまな表情の変化を見るたび、その成長にとっても感動します。